情報・システム研究機構 国立情報学研究所 学 術 基 盤 推 進 部 学 術 コンテンツ 課

日韓 ILL システムの改修について

平素より、本研究所の事業にご支援、ご協力いただき誠にありがとうございます。 NII では、7/24(木)に日韓 ILL システムの改修を行いました。日韓 ILL の主な変更点は以下の通りです。

● CODE と NOTE のチェック

受付業務の[INQUIRE]、[PARDON]時、コメント<CMMNT>フィールドの CODE と NOTE 部分において" CODE="、"NOTE="がない等、不備があるものは、転送エラーとなり、「回答待(IN-PROCESS)」に遷移します。コメント<CMMNT>フィールド部分に"CODE=13"といったように"CODE="に続けて、問合せ/謝絶内容コードを記述するか、または"NOTE=in-use-on loan"といったように"NOTE="に続けて問合せ/謝絶内容を正しく記述し再度、[INQUIRE]、[PARDON]処理をしてください。

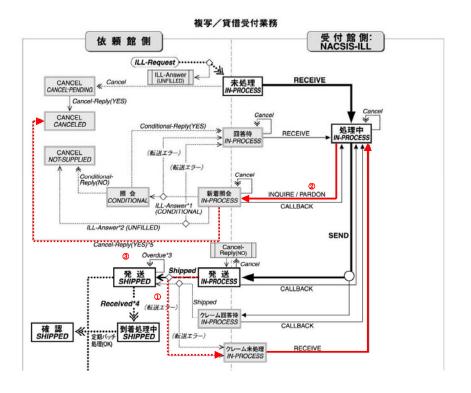
(参考) ILL システム操作マニュアル ISO ILL プロトコル対応 第2版

- ➤ 6.4 依頼内容について問合せる http://www.nii.ac.jp/CAT·ILL/manuals/iso2/6 4.html
- 6.6 依頼を断る(謝絶)http://www.nii.ac.jp/CAT·ILL/manuals/iso2/6_6.html

● CancelAPDU 受信時の処理の改善

受付業務の[SEND]時、最新の[SEND]コマンド発行以前にCancelAPDUの受信があった場合、転送エラーとなり、「クレーム未処理(IN-PROCESS)」に遷移します(図中の①)。該当データはすでに KERIS 上で CANCEL されていますので、[PARDON]処理をしてください(図中の②)。Cancel-Reply(YES)APDUが KERIS 側に送信され、「CANCEL(CANCELED)」に遷移します(図中の③)。

なお[PARDON]処理時においては、コメント<CMMNT>フィールドは必須入力項目となっておりますので、"CODE=27" または"NOTE=CANCELYES" など CANCELに承知した旨を記述して、[PARDON]処理をしてください。



本件問い合わせ先:

国立情報学研究所 学術基盤推進部

学術コンテンツ課 NACSIS-ILL 担当

TEL: 03-4212-2320 FAX: 03-4212-2375

E-mail: <u>illadm@nii.ac.jp</u>